

「**楽楽楽文化祭 2023**」 報告

「楽しいこといっぱい」の1日を合言葉に、太白区文化センター全施設を活用し、来館した誰もが気軽にアートに親しみ、体感できることを目的に開催しました。当日は、お天気にも恵まれ、イベント全体を通して約 800 名の方々にご来場いただきました。

開催日:令和5年1月22日(日)

場 所:太白区文化センター

主 催:公益財団法人仙台ひと・まち交流財団 仙台市太白区文化センター

共 催:一般社団法人アート・インクルージョン

特定非営利活動法人ほっぷの森



『楽楽楽文化祭 春の響きコンサート』(楽楽楽ホール)

【出 演】アート・インクルージョンファクトリー、聖和学園高等学校舞踊・ダンス部、
幹 miki(ボーカル)、斎藤めぐむ(ピアノ)、山本純(チェロ)、
齋藤寛(パーカッション)、及川久美子(司会・ピアノ・ボーカル)

【企画・監修】 特定非営利活動法人ほっぷの森

アート・インクルージョンファクトリーのパフォーマンスに始まり、聖和学園高等学校舞踊・ダンス部のダンス、幹 miki さん、斎藤めぐむさん、山本純さん、斎藤寛さん、及川久美子さんによるポップミュージックのコンサート、全員がステージに会したフィナーレまで、小さなお子様からご年配の方まで楽しんでもらえるバラエティに富んだコンサートをお送りしました。このコンサートは子育て中の方にも安心して楽しんでいただけるよう、最前列にベビーカー席を設置するとともに、お子様用の座席クッションの貸出なども行いました。当日は、コロナウイルス感染症の拡大が心配される中ではありましたが、皆さま感染対策を意識され、コンサートを楽しんでいらっしゃいました。



アート・インクルージョンファクトリーのステージ
yuka*さんのダンスから始まり、寸劇やみんなでのダンスでオープニングを飾っていただきました。



聖和学園高等学校舞踊・ダンス部のステージ
ダイナミックな舞踊とヒップホップダンスで寒い冬を熱く盛り上げていただきました。



幹 miki さん、斎藤めぐむさん、山本純さん、斎藤寛さん、及川久美子さんによるステージ
ピアノ、チェロ、パーカッションの華やかな伴奏にのって、幹 miki さんの素敵な歌声が会場中に響き渡りました。最後は聖和学園高等学校舞踊・ダンス部とのコラボレーションもあり、とても心温まるステージとなりました。



フィナーレ
これまでの出演者が一同に会しお送りしたフィナーレ。「にじ」の演奏のあと、会場からのアンコールにお応えし、「小さな世界」を演奏しました。会場からの惜しめない拍手がいつまでも鳴りやまず、名残惜しくもコンサートは終演いたしました。

★アンケートより

- ◎聖和のダンスがとてもステキでした。馬娘のダンスが上手でした。祈りのうた、とても感動しました。祈りが届きますように。
- ◎子どもも大人もお年寄りもみんなが楽しめるイベントありがとう。無料でこのコンサートが見れるのはもったいないくらい。
- ◎幹さんの歌声がすばらしい。癒された。感動です。ステキなコンサートでした。聖和のダンスもよかったです。
- ◎アート・インクルージョンの方のパフォーマンスもっと観たかったです。聖和学園のダンスの方もです。

アートワークショップ『アートタウン SENDAI』(展示ホール)

仙台のランドマークをモチーフとした作品に来場者が形づけたり色づけたりと、自分たちの SENDAI を作りました。

【企画・運営】 一般社団法人アート・インクルージョン



いったいどんな広瀬川になるのでしょうか…。



われらが「青葉ジョー」カッコよく仕上げよう！



別会場ホワイエマルシェとオンライン交流！



飾り付けるアイテム制作中！



これはまさに大手門！

『楽楽楽多文化映像祭 2023』(音楽練習室1)

仙台を舞台に多様性の受容や人と人との繋がり、交流の実現をテーマに制作された映像作品を上映しました。

【企画・運営】 一般社団法人アート・インクルージョン



上映ラインナップ 「パートナーズ」「Strangers in Sendai～仙台の異邦人ムハマンド・佐藤」他3本

『楽楽楽マルシェ！』(楽楽楽ホールホワイエ)

【企画・運営】 一般社団法人アート・インクルージョン



彩あふれるマルシェが開催され、多くの来場者で賑わいました。また、「ふうどばんく東北 AGAIN」を通じて、食べるものがなくて困っている方に、お持ちいただいた食料品を届けるフードバンクも併せて開催されました。